

【世田谷区内の感染状況の分析】

- ・世田谷区内の感染状況については、新規陽性者数の増加比が著しく上昇し、高い水準になる等、再び状況が深刻化している。
- ・療養者数についても、1月に入り、急激に増加しており、医療提供体制のひっ迫が懸念される。
- ・デルタ株からオミクロン株への置き換わりによる、さらなる感染拡大に警戒する必要がある。

【今後の対応】

- ・区内の感染状況や東京都による「まん延防止等重点措置」等を踏まえ、施設運営及びイベント等の実施にあたっては、利用定員の制限、更なる徹底した感染防止対策等を講じることとする。
- ・高齢者施設等の新型コロナウイルスワクチン3回目接種を前倒しして進めていく。また、東京都のPCR検査無料化事業の活用や区民等を対象とした抗原定性検査キットの配布などの感染拡大防止に向けたさらなる取り組みを行う。
- ・入院病床や宿泊療養施設のひっ迫を見据え、中等症患者への酸素供給など、自宅療養者を的確に支援する取り組みを進める。
- ・さらなる感染拡大を防ぐため、感染割合の高い家庭内感染や飲食店での会食等による感染の防止に向けた注意喚起を行うとともに、チラシやポスターを活用した感染拡大防止の啓発を進める。